

SAK だより

神奈川県スキー連盟
横浜市神奈川区台町16-1
ソレイユ台町 407号室
電話 045(311)8907
発行者:清水 清則
編集:門間 誠蔵

南足柄

南足柄市スキー協会が発足 18番目のスキー協会として組織される!

今年度より、皆様の仲間入りしました「南足柄市スキー協会です」
昨年までは足柄スキー協会に所属していましたが、このたび南足柄市では、市制十五周年並びに体育協会設立二十周年という節目にあたり渡辺体育協会会長、松浦全日本スキー連盟副会長を始め多くの皆様方の御指導と御協力により、昭和六十二年六月一日付けで南足柄市スキー協会を設立いたしました。



明神ガ岳、明星ガ岳という大きな山を背負う様に横に長い都市です。足柄山の金太郎で知られる足柄峠そして足柄の関所、峠を下ると矢倉沢地藏堂、夕日の滝、二十一世紀の森、又左天狗で有名な道了山最上寺と旧所跡の多い所です。さて話しは前後致しますが、協会発足に当り、足柄スキー協会、小田原スキー協会には大変お世話になりました。
現在は富士足柄スキー部、南足柄市役所スキー部の二クラブですが、今後協会としては微力ではありますが、高橋晃会長を中心に丸となって地域社会体育スキー活動を行なっていく所存です、とは言え歩き始めたばかりの協会ですので、今後とも御指導、御鞭撻のほど宜しくお願い致します。
南足柄市スキー協会

県連の数多い行事の中で、特に正しい理解と協力をお願いしなればならない行事として第一に九月から開始されている、オフトレニングですが、県連としては選手強化、特に基礎体力づくりには欠かせない行事として取り組んで参りました。何と云っても根気のいる行事で、参加する皆さんも地味な努力の積み重ねで大変なことでありますが、近年その効果もあらわれて参りました。ただ残念なこと毎に参加する顔ぶれが同じになっていくことです。この行事の目的が基礎体力づくりですので広く各階層からの参加をお願いします。次に本年は指導員受検者を増

正しい理解と協力
すよう各方面に呼びかけました。お陰様で本年は二〇〇名以上の受検申込がありました。県連としては単に受検者の数を増やすことではなく、受検者を中心とした、スキー

新企画 第1回神奈川県スキー技術選手権
期日 昭和63年1月22日~24日
会場 五竜遠見スキー場

正しい理解と協力
技術の向上とスキー界の活性化を図ることを目的としています。今後とも正しく理解し、協力をお願いします。
本年より指導員研修会(D)五

準備検査に207名が臨む
昭和62年11月8日(日)
全労済神奈川会館



会場溢れんばかりの大多数による準備検査、理論検査が、今年もS・A・J専門委員及びプロック技術員、傷付委員より出題された問題により行なわれた。特に今年度は、教則、教本の改正に伴ない、ほんとうに大変だったと思います。その真剣な眼差しは、いつもの年とは変った雰囲気のように思えた、実技の方も頑張つて、今年度は全員合格出来ますよう、期待致しております。

総務部
日頃、県連総務部の事務執行につきましてはお暖かいご理解と協力を賜り感謝しております。
お陰様で、今年度は「南足柄市スキー協会」も加わり、十八協会、会員数五、一二三名を数えるまでに成長いたしました。
特に、銀行振込み制度と諸登録申請事務につきまして、各地区協会をはじめ、各クラブの会員の方々の協力により、事務処理が円滑になされるようになってまいりました。
現在、コンピュータ導入にあたって、事務処理内容の整理選択と

各部から一言
それに対応した機種選定のために検討を進めております。
活用方法の主なものとして、会計処理、発送文書の作成・管理、有資格者等の管理、各種検定会・競技会の判定処理、ポイント計算等を考えています。初めはワープロ的な処理から着手していき、徐々に複雑な処理を消化していく方向で進んでみてはどうかと考えております。
なにも、コンピュータに関しては素人の集りですので、広くコンピュータに携わっている方々のお知恵を拝借しつつ、この計画が水泡に帰すことのないよう努力していきたいと考えておりますので今更以上のご支援を頂きたいと思っております。

強化部
六十二シーズンに向けては、まず無理な練習は避けて、基本のトレーニングから開始して下さい。
シーズン最初の滑走は、そのシーズンの調子を左右する程大事なことです。又競技参加に必要な技術を部分的にチェックすることを忘れてはなりません。ターン、スピード、高低差等を良く練習して下さい。いきなりポール練習をしたり、小さなターンは避けて下さい。

普及部
デモンストラター制度が廃止になり、本年度から神奈川県スキー技術選手権大会が新しく開催されます。技術の流れが時代とともに変わり、基礎スキーそのもののおかれている状況が変わりつつある現在、グローバルな見地に立つて、スキー技術の研鑽に務めることを目的に開催されます。

普及部
強化部長 佐々木 峻

普及部
又これ以上に大事なことは、シーズンまでにトレーニングをしてきた基礎体力の維持です。シーズン中には次第に体力が落ちてきます。この体力維持のために、毎日の降トレを欠かさないで下さい。以上の二点を守り、今年こそ大幅な技術アップのシーズンにして下さい。



大山 重彦



まいあがれ愛と自由の熱い雪

頑張れチェアスキー

— 冬期身障者オリンピックにおける —

特集

チェアスキー

クリーン作戦

白銀の世界に魅せられ、あの大
自然の中を滑走する欲求は、誰れ
も同じである。「車椅子でもスキ
ーはできる。思いきり白銀を滑ろ
う。」を合言葉に、開発したチェ
ア・スキーで白銀の斜面にシユ
アールを描いている仲間が、県内で
積極的な活動をしています。

何年かまえ、この「SAKだより」
でチェアスキーの紹介をしたこと
がありました。おぼえていますか。
今回は、その後の彼等の活躍と、
改めてチェアスキーの紹介を致し
ます。

チェアスキーとは車椅子の人達
(両足を動かすことの出来ない両
下肢障害者)が、安全にスキーを
楽しむために考案された用具(つ
まり雪上車椅子)をいいます。
日本では十二年前に「日本チェ
アスキー協会」が発足しましたが、
用具の開発、操作技術ともに世界
レベルを維持しているようです。
「日本チェアスキー協会」の本
拠地は、この神奈川県下(厚木市
七沢の県立リハビリセンター)に
あり、奇しくも神奈川県がチェア
スキーの中心の役割をしているわけ
です。また普及段階ですが組織は
全国的で、各地に支部が誕生して
います。

チェアスキーは私達が既に知っ
ている、片足で滑るハンディスキ
ーとも違います。障害の状態が異
なるため「日本身体障害者スキー
協会」とは連携を保ちながら、独
自に歩んでいる組織です。
何分にも若い団体だけに、一部
の限られた人々のスポーツで、と
てもSAJとは比べられる規模で

はありませんが、彼等の活動は国
際的でFISレベルのものです。
ここで一九七五年に協会結成以
来の活動を記してみよう。

チェアスキー一号の完成が八十
年。翌八十一年(国際障害者年)
にカナダ政府の招きで現地の障害
者にチェアスキーを紹介。八十三
年、チェアスキー二号機が完成。
八十四年、チェアスキー国際ミ
ーティングがスイスで開催。日本か
ら四十一名が参加し、日本のチェ
アスキーが、我々健常者と同じ操
作で滑れる可能性を、世界に示し
注目をあびている。八十六年には
身障者冬期世界大会(スウェーデ
ン)に派遣した、山口氏(富山)
が銅メダル2個の活躍をしている。

このような活躍の影には、地道
な日頃の努力が有るわけで、用具
の開発・製作のかたわら、普及を
目的として、用具の貸出しや指導
もしています。

用具は開発当初どちらかとい
うとソリに近かったものから、二
機の完成により、身体のバランス
と加重の変化によって操作でき
より一般スキーに近いものになっ
ています。

これは画期的なこと、これに
よって小まわりターンはもとより、
三〇度をこえる斜度でもこなせるよ
うになったのです。
現在は一般の人達と同じ様にリ
フトに乗る用具を開発し、今シ
ーズンから実用試験に入るよう
です。

さて、私達とチェアスキーとの
出会いを紹介すると、前回紹介
のときと比べて現在は若干の繋が
りがあります。

前にも述べたように、彼等の活
動母体が、この神奈川県であるこ
から、以前紹介して以来何かと接
点が出てきています。

横浜市協会では彼等の為に以
前、チャリティーバザーを企画し
たこともありますが、小田原協会
では、数年前から用具製作用の板
の提供や、映画会の会場で松浦会
長自ら、彼等の活動の紹介に力を
入れています。また、この他にも
最近では、いくつかの協会から映
画会などの催し物に招待されてい
ます。



この結果、彼等の活動の理解者
が、徐々にですがボランティアの
かたちになって、着実に増えてい
るそうです。

ここでお願いがあります。
まず第一に同じスキーを志す者
にとり、ひとりでも多くの人達
にスキーの欲びを知って貰いたい
のは理屈のいらないことだと思
います。またこのスポーツでも健常
者だけの物でないことも言えます。
私達はスキーヤーとして彼等の
先輩になるわけで、スキーに関し
て多くの知識と技術を持つており
ます。

自分自身のこと出来ないので
とも他人のことまでも、と考
える人達もいます。人間なんて何
かしらが欠けているものです。自
分達の出来る範囲で、力を貸して
やりましょう。

今、彼等が必要としているのは、
ひとつに受入れてくれるスキー場
が少ないことです。そこでスキー
場に顔の利く方には彼等を紹介し
ていただきたいと願います。



また彼等にはコーチが少ないこ
とです。コーチは特にチェアスキ
ー用の特殊な技術はいりません。
彼等は上半身だけで私達とほぼ同
じ滑りをするはずで
彼等は競技に力を入れて要する
で、出来れば競技を指導してくれ
る方がいれば幸いです。

この一月、オーストリアで障害
者冬期オリンピックが開催されま
す。
今回からチェアスキーが公式種
目に加えられ、日本チェアスキー
協会では四名の代表を派遣する
ことになりました。うち二名が神
奈川から選出されています。最後に
彼等の健闘し、これを支えている
人達の活躍を祈ります。

連絡先
日本チェアスキー協会
〒240 神奈川県厚木市
毛利台三十一-二
伊佐 幸弘
電話 0462 (47) 3814

やめようゲレンデ内の たばこのゴミ捨て

突然ではありませんが、あなたは
ゲレンデ内での喫煙を、どう思
いますか？ 私達広報委員会は、
これをテーマにディスカッション
をして来ました。

我々の愛するスキーは、自然を
相手のスポーツであるわけで、当
然、私達は、この自然を大切にし
ていかなければなりません。
これは単に、環境の保全だけだ
なく、我々使用者、一人ひとりの心
がけにあると言えます。

まして、SAJという、日本を
代表する組織の中の一員として
は、他のスキーヤーの範たる、必
要ももて来るわけです。
最近タバコに対する風当りは、
かなり強いものがあります。
「禁煙運動」嫌煙権運動、電
車・飛行機など乗りものの禁煙
席、タクシーの禁煙車が登場しまし
た。

こうした中で、私達が提案した
のは、決して禁煙嫌煙権運動
を展開するのではなく、ただ吸う
場所を、わきまえてもらいたい
です。

私達がスキーを愛するのは、あ
の純白の自然のジュータンの上
に描くシユアールに魅了され、リ
フトの上から、雪をかぶった冬
山や樹林を見るとき、精神的な安
らぎを感じるものです。

「そこで一服」となる、愛煙家
の気持は、充分判かるのですが、
ちよつと待つて下さい。春になり
雪が溶けてきた時のリフトの下
は、タバコをばはじめゴミがいっぱ
い。
一般的に、タバコのヤニは草花
の病害虫に良いといわれています
が、それも限度の問題です、そ
れにフィルターは完全に残りま
す。



シーズンが終って ゲレンデ清掃する 白馬村の子供達

同じと思って下さい。
これは防災上のことだけでなく
タバコ等のゴミのポイ捨てに私達
は少し、慢性化してはいないでし
ようか。

我々広報委員の中の三名が、
今回のインタースキーでカナダ
のスキー場を見る機会を得まし
た。

そして、感じたのは、カナダのス
キー場では、まったく喫煙してい
る姿は見なかった事です。(ただ
日本人は別でした。)

そこで私達は、日本のスキー場
の現状を調べました。
まず車山では、リフト上での喫
煙は禁止する方向だそうです。
五竜とおみでは、シーズンの終
りに、地元のボランティア(ジュ
ニア)によって、ゲレンデ清掃を
行っています。スキー場の周辺は
国道沿いをはじめ、いたるところ、
空カンやすがすがが、雪の中から
出て来るそうです。

大人の後始末を、少年達に、さ
せているという事実も知ってもら
い、我々としては、少なくともタ
バコのポイ捨てはしないところが
けでいきたいものです。
スキー場としては、手をこまね
いているわけではないのですが、
私達が客であるので、あまり
強くは出来ないのが現状のよう
です。

我々利用者側からいえば、喫
煙場所の整備を求めする必要もあ
る、とは思いますが。
最後に重ねて、我々スキーヤー
は吸いながら入れのない場所での
喫煙はしない事を提唱いたしま
す。

特に、多くのスキーヤーと接する
指導員の皆さんは、単に技術だけ
の伝達をするのではなく、スキー場
でのマナーも伝達したいもので
す。

広報委員会ではこの提唱に対
してみなさんの御意見をお待ち
しています。
連絡先 広報委員長 門間
住所 鎌倉市今泉台
一丁目十八-六
電話 0467-4518099
夜一九時以後

SAK 傷 対 アラカルト

国際パトロール連盟 FIPS 総会に参加して

全日本傷対委員 福沢 洋治



チリは日本から最も遠い国の一つで、南米大陸の西海岸に沿ってアンデス山脈と太平洋にはさまれ南北に延びた細長い領土である。中央は気候も温暖で肥沃な土地は農業に適し首都サンチャゴもこの地域にあり、チリの政治、経済、産業、文化の中心地である。

第六回国際スキーパトロール連盟総会が、一九八七年、八月十六日～二十一日まで、この首都サンチャゴで開催された。

参加国は、日本、カナダ、アメリカ、フィンランド、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、アルゼンチン、フランス、スウェーデン、チリの十一ヶ国、五十数名の総会となった。

日本から総勢十七名(内視察員四名)が参加。チリ共和国は、現在、軍事政権であり、かなり不穏だと聞いていたが、我々の所は、そのような感じは見られなかった。しかし、参加者の少ないのは、一つには危険な国というイメージがあったと思われる。

日本の発表は「日本におけるスキー傷害のデータ及びスキーブレイクの功罪と、頭部、顔面切創の防止」という表題で発表された。

内容的には、好評であったが、言葉の違った国の集まりなので、スライドや、ビデオを使つてのレクチャーにしたなら、もっと効果があったと思う。

雪上のデモンストレーションは、サンチャゴからバスで、二時間ほどのコロラド、ファレロネス・スキー場で行なわれた。日本の三月頃の気候であった。そこは、三二〇〇mの高地で、空気が薄いため一本滑ると、かなり息切れを感じた。

各国共通のテーマは、如何にスキー傷害をなくすかということであらゆるメディアを利用して、スキーヤーに働きかけていた。

パンフレット、ステッカー、ポスター、はがき、切手、新聞、ラジオ、テレビ等であり、スポンサーも保険会社、スキー関係機関等を利用して、人々に事故防止思想を、如何に認識させるかのPR活動を重視している。

又、救急器材等の研究も盛んで、民間会社との協力で毎回改良されて、新しいものも発表されている。日本においては、まだスキー場でのルールが確立されていない現状では、スキー場管理者は、儲け主義になって、まだ安全に対する財政面、人的面の支出には、消極的である。だが、最近では、損害賠償の対象となる事故も増え、事故防止には、注意を払らなくてはならない。

SAJでも、今後スキーヤーに対する広報活動の重要性も検討する時期にきていると思う。

雪上のデモンストレーションで、日本チームは、三角布による全身包帯と、事故者搬送を行い、大変良くまとまりがあつて、そのスキー技術や、テクニクにおいては他の参加国より「だんとう」であつた。スキーパトロールの権限も高く、評価もされている中であつて、ドクターパトロールの存在で、ドクターの胸に「メデコ」のワッペンをつけて、一般パトロールと、互いに協力し、ボランティア活動していた。ちなみに、スキー技術は、二級程度である。SAJでも、公認スキーパトロールをドクターにも、門戸を開き、スキー技術は、ともかく、その専門職を利用して、パトロール活動が出来ようになれば、全体のレベルアップにもなり、すばらしいことと思つた。また、これだけ大衆的になったスキーヤーに対し、事故防止の普及に、もっとたくさんパトロールの養成も必要かと思つた。

例えば公認スキーパトロールに広く門戸を開き、雪上の専門パトロール、ドクターパトロール、雪上での専門パトロール、ドクターパトロール、雪なし原のパトロール(事故防止思想の普及)等のいろいろな任務を持ったパトロールがあつても良いのではないかと、これからは、スキー技術やテクニクだけのスキーパトロールではなく、日本のスキー場にあつたパトロールの養成の検討を望みたい。

選手強化・育成が本業

—強化コーチ 菊地 富士夫—

「強化コーチ」スコップを片手にコースをかける姿を見た方は強化コーチは土方と見える、かも知れないが本業は、選手の強化、育成である。しかしこれほど問題も多く思ふようにいかなる仕事もない。スコップを持ってかけ回っていた方が楽かも知れない。

しかし強化という肩書きがある以上、本業である強化、育成に力を入れなければならない。

強化はこうあるべきだと目標をたて努力してきたが個人ではどうしてもできない問題も多い。強化資金、環境企業及び学校の理解協力など満足いく強化、育成を目指すには解決しなければいけない問題・課題が多すぎる。

他県からくれば雪が降らないというハンデはあるもの、強化、育成には一歩も二歩もおくれている。特にジュニア強化については

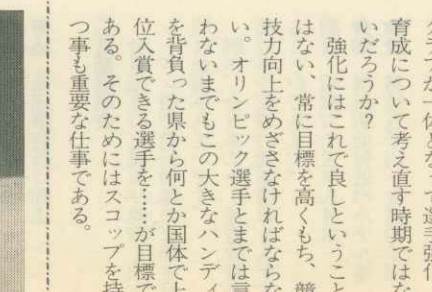
我々の最大の課題でもあるが現役の選手の後継を育てるためにもジュニア強化は当分のレベルアップのためにも必要である。

現在の当分のレベルを考えると平均して若年層のレベルが低下しつつある。これはジュニアの育っていないことが原因である。特に基礎体力、基礎技術修得に最も大切な時期だけに正しい指導育成が必要である。

今後の強化・育成の課題として、社会人においては自分の肉体的範囲内の余裕にも限度があり、選手の所属する企業、学校の理解なくして強化はならない。

しかし神奈川県という環境を考えると、せいたく目標はたてられないが何をしなければいけないかを考えるとスキー連盟、協会クラブが一体となって選手強化、育成について考え直す時期ではないだろうか?

強化にはこれで良いということはない。常に目標を高くもち、競技力向上をめざさなければならぬ。オリンピック選手とまでは言わないまでもこの大きなハンデを背負った県から何とか団体で上位入賞できる選手を……が目標である。そのためにはスコップを持つ事も重要な仕事である。



ユニークなスキー競技大会

今日は県連内のユニークなスキー競技大会を紹介いたします。この大会は長い間行なわれて来ましたが、公式の行事でないので一般には知られていませんがほんとうにユニークな大会です。その名は黒川杯争奪県連協役員親睦スキー競技大会で、多年県連協の役員として活躍されている人達の功労を感謝するとともに、親睦を図るため行なわれている特別ハンデキャップ制によるスキー競技大会です。

この大会は毎年県連協時次のようなハンデキャップにより行なわれています。

A杯
年令ハンデ……年令一歳につき
資格ハンデ……準指正指 五秒
選手ハンデ……県選手権大会入賞者及び団体選手 五秒



B杯
年令ハンデのみによる
年令ハンデは当日出場した最高年令者より順次加算する。
以上のようなまことに珍しいハンデで楽しさ百倍です。多数の参加をお願いします。



SAJ専門委員の行う研修会及び講習検定は、一部のパトロール養成に、とどめず、なるべく各県連に行事委嘱し、今後の各県連の傷害に対する、普及の活性化につなげたい。SAJも、二年前より、教育本部の組織に傷害防止対策部会が位置づけられ、活動を展開しております。

今後、SAKに於いても組織の充実を計り皆様の御協力をお願い申し上げます。

一九八五年九月、西ドイツ、オーストリアの第四回大会にて、日本開催が決定以来二年間の準備期間がありました。その間国際スキー連盟への加入、又、日本に於いては、全日本スキー連盟への加入と組織の変化が大変でした。

二年前にドイツが引き受けた時は、世界のレベルにどこまで追いつくことが出来るのか、又日本開催がヨーロッパ並みのギャラリを集めることが出来るのか、この二点が大きな問題でした。

大会は一九八七年九月十七日から四日間野辺山スキー場にて開催されました。ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア、台湾等十三ヶ国が集まりました。この競技はもともと、ヨーロッパのアルペン競技の強い国が夏季トレーニングの一つとして始められたものです。

日本は強化開始二年目のこともあり、まだまだ世界のレベルへは遠い様です。私も三年間に数度ヨーロッパへ遠征し各国選手の強化を勉強してきました。

来シーズンからは更に選手層も厚くなり、日本が滑走可能なこのグラススキーは増々発展しようです。

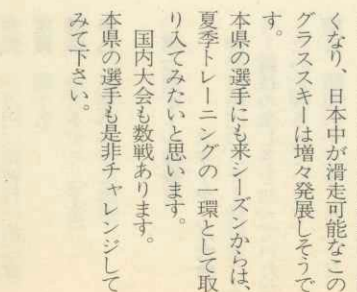
本県の選手にも来シーズンからは夏季トレーニングの一環として取り入れてみたいと思つています。

国内大会も数戦あります。本県の選手も是非チャレンジして見て下さい。

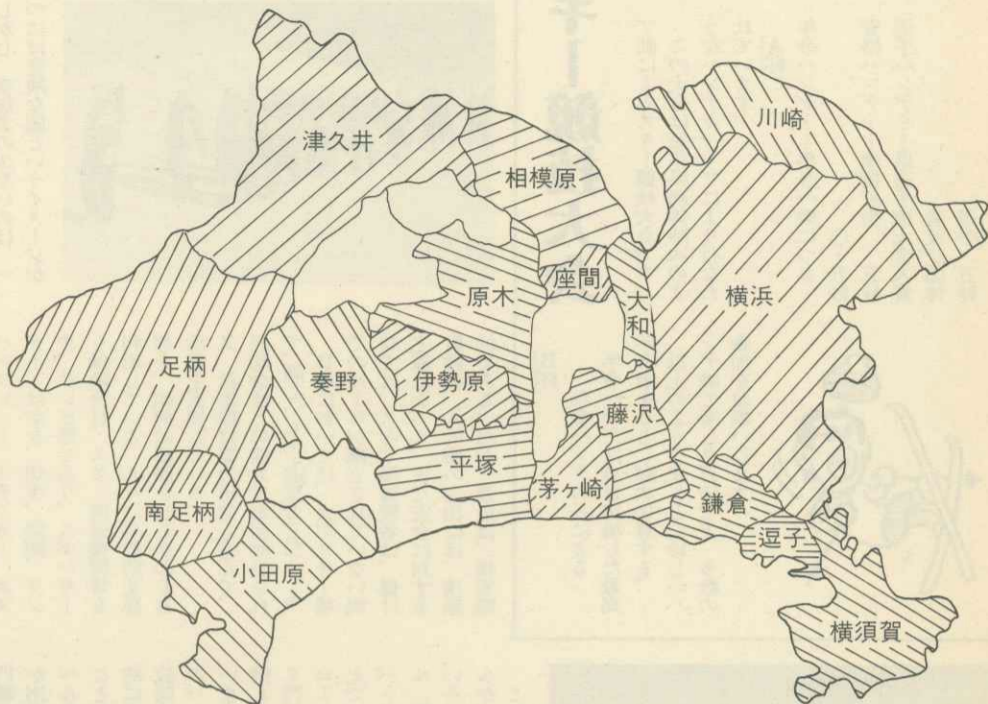
第5回グラススキー世界選手権大会開催される

競技委員長 佐々木 峻

二十年以上の歴史があります。今回もやはり、スイス、西ドイツ、オーストリア、イタリアが強く各種目の優勝をさらいました。



版わのわか協会



このコーナーは、各協会の行事や活動を紹介するために企画されています。多くの協会からの投稿を希望します。
広報委員会

相模原スキー協会

相模原スキー協会特派員
レポート in 戸隠 '88

今シーズンで五回目を迎えたこの行事も、ようやく軌道に乗り参加者は二〇〇名を超えるほどになっております。
もともと年末年始の合宿は、各クラブで行っておりませんが、基礎スキー指導員のないクラブや、競技スキーを志向したくても専門的な知識をもっている指導員がないクラブがあることなどから、協会傘下のクラブが一堂に会して合宿を行えばとの発想に始められたものであります。

この合宿は、一月二日まで行われ、基礎スキーと競技スキーに分かれ、午前午後の各二時間の講習を行っております。合宿の目的は技術の向上にある訳ですが、それ以上にクラブ間の交流と仲間作りにも大きな役割をもっております。
また、明日はパッチテストを行い、その結果に一喜一憂したり、除夜の鐘を聞きながら仲間と酒をくみかわし、夜の更けるのも忘れスキー談議に花を咲かせることになると思っております。

翌日は、二日酔いの仲間も多くいることと思いますが、元旦という事で役員も大目にもてくれそうです。この様な合宿が一月二日までの四日間行われる訳ですが、参加者は安全手則を忘れず、技術の向上はもちろんのことですが、仲間作りにおおいに励んでもらいたいものです。
今シーズンもこの他、市民スキー講習会、市民スキースクール、親子のスキースクール、スポーツ少年団スキー等、行事は多彩でありますので数多くの参加を期待しております。

最後になりましたが、皆様の御多幸をお祈りして戸隠スキー場からお別れしたいと思います。
皆様よいお年をくださいようなら

指導員

松浦益司郎氏
日本スキー指導員会会長に就任
片岡春夫氏副幹事長に

昭和六十三年度日本スキー指導員会総会において、神奈川県スキー指導員会会長の松浦氏が会長に選ばれ、また片岡副幹事長は副幹事長に就任し、幹事に柳沢氏、顧問に黒川氏及び三塚氏が承認されました。

現在、神奈川県スキー指導員会に加入する指導員は七百名を越える、県連全指導員の半数以上の方々が加入する組織となつております。当会の活動は親睦及び情報の伝達・交換による技術の向上を図ることを目的に、毎年オール神奈川スキーヤーズ大会・指導員フェスティバルなど、次の催物を企画し運営しております。
特に指導員フェスティバルは三百名近い参加があり、親睦ゴルフに至っては現在ゴルフ登録会員数は百十名そのうち、春と秋の年二回開催するコンペでは五十名前後の方が参加する大コンペが盛大に開催されます。

昭和六十二年度の行事及び日程
○第一回指導員検定のための特別研究会
指導員受験の会員の合格率アップをねらった特別研究会です、今年或いは近年に指導員検定の受験を目指している方は、奮って参加して下さい。

○夏期懇親会
会員相互の交流及び親睦を図りシーズン前の最新情報の交換を目的に企画されています。
例年、全日本スキー連盟教育本部行事予定等の最新情報を入力することが出来ます。

○会員に連絡
年会費は、指導員研修会・進指検定会及び前記大会会場等で、窓口を設け徴収を行っております。
また、振込料の安価な郵便為替による方法を現在検討しておりますのでもしばらくは、前記の方法による会費の納入をお願いいたします。なお県連への現金書留による御入金金は、在局日以外の日には配達されませんので御慮下さい。

座間スキー協会

協会設立から10年

座間スキー協会です。よろしくお願ひします。
「エー座間」ってどこにあるの？十年前、県連に加盟した時のことです。

座間市は県央のヘソの地区に位置し、JR相模線と小田急線が並行に市西部を貫通し、相模線が南部地区を横切って走っている。市中心部には、座間日産工場がデンとすわっている緑豊かな十萬都市です。

新宿、小田原、横浜にそれぞれ一時間の通勤圏にあり住宅も密集し、近代都市に変貌しつつある。この座間に、スキー協会が誕生したのは昭和五十年十一月で翌五十二年県連に加盟した。早いもので十年を過ぎました。

夏は、相模川原でバーベキュー或は、登山、テニス等で会員のミニレクリエーションの場を作り、十一月には第九回スキー映画会を開催し、その名もサマスキーフェスティバルとタイトルを変えて、内容を一新して行なう予定で、抽選会のスポンサー集めで役員が車奔西走している。先輩の各スキー協会に協賛できるスポンサーがあれば紹介していただきたい。この紙面をかりてお願ひします。

協会設立から十年、一月末に第十回市民スキー大会を、昨年から県総体予選会を兼ねて、回転、大回転の二種目、少年、女子、壮年、成年の組別で白馬乗鞍国際スキー場で行ないます。市内在住の動の方は是非参加して下さい。スキー教室は各クラブで行なっているが昨年より協会主催市民スキー教室を復活して二月中旬に、白馬乗鞍で実施した。指導員の熱心な指導により参加市民から好評で大変喜ばれた。これからも一般市民を対象にした社会体育の普及のため努力していきたいと考えて



市民スキー教室
日程 二月十三日・二月十四日
場所 白馬乗鞍国際スキー場
募集人員 四十名

第九回市民スキー大会、兼第三十九回県総体スキー大会予選会
日程 一月三〇日・一月三十一日
場所 白馬乗鞍国際スキー場
募集人員 四十名

ラフ登録入口六十名程の小さな協会ですが、ファミリー的な要素を基本として活動しています。月二回の役員会の中で熱の入った討議で運営に努力し普及、強化のレベルアップを目標に頑張っています。今後共、先輩各協会の二指導をお願いいたします。

なお、協会の行事日程は次のとおりです。
第九回市民スキー大会、兼第三十九回県総体スキー大会予選会
日程 一月三〇日・一月三十一日
場所 白馬乗鞍国際スキー場
募集人員 四十名

津久井スキー協会

加盟2年目を迎えて

県連加盟二年目を迎えた津久井スキー協会の今後の課題としては、各種行事の定着化と、会員を増加する事などが上げられる。

本年度の主な行事としては、一月中旬に泊三日で八方尾根で行なう、一般スキーヤーを対象としたスキー教室、一月の最後の土日曜日を利用した、白樺高原での県

総体予選を兼ねた競技会があり、多くの参加者を待っている。

また小中学生を対象としたスキー教室の実施については従来通り各クラブで開催することとし、講師の不足が生じた場合は協会が補うことにした。

会員の増加については、協会の目的の一つである。スキーを通しての仲間作りという点から、今後上級者のみならず、初心者を含めたスキーヤー全員を協会員にするような心構えで取り組みたい。

他にも課題はたくさんあります。他にも早く皆様の協会のようになりたく思っています。



小田原スキー協会

二十回をかぞえる小田原選手権

- (1) 協会初予選
日程 12月18日(金)
場所 日本ランドスキー場
- (2) 市民スキー教室
日程 Aコース
12月29日(火)～1月3日(日)
募集人員 二二〇名
Bコース
1月1日(金)～1月5日(月)
募集人員 八〇名
- (3) 技術交流会
日程 2月6日(土)～2月7日(日)
場所 野辺山ハイランドスキー場
基礎、競技合同で上級者対象
小田原選手権(第二十回)
- (4) ジュニア・スキー教室
日時 12月28日(月)～1月1日(金)
場所 志賀高原丸池スキー場
募集人員 二二〇名
- (5) ジュニア&ファミリースキー
日程 3月31日(木)～4月4日(日)
場所 志賀高原一ノ瀬
募集人員 一五〇名
- (6) 協会納会
日程 4月17日(日)
場所 富士山五合目
残雪を求めて、雪の中で最後の家族ぐるみの、レクリエーションです。

鎌倉スキー協会

十年目を迎えたジュニアスキー

子供を対象にした、ジュニアスキー教室も今年で十年、節目になりました。

早いもので一回目のジュニアの生徒達がすでに成人を迎える年になっているのだと思います。

鎌倉の行事を考えると、市民スキーに始まり、ファミリースキー、ジュニアスキーと発展して来ま

これは大きな夢かも知れませんが、ジュニアが育つて大人になり市民スキーへ、家庭を作りまた子供とファミリースキー教室に参加して下さればと、思いながら今



年も各スキー行事を企画しています。

各スキー行事も皆様の御協力により、市民三十一回目、ファミリー十二回目、そして今年度のジュニアが十回節目になります。

新しい企画でお待ちしております。



茅ヶ崎スキー協会

“海から冬山へ飛び出す日”

- (1) 正月スキースクール
日時 12月30日(木)～1月3日(日)
4泊5日(夜行車泊共)
場所 サナルピナ
青木湖スキー場

川崎スキー協会

若い組織作りを 理事長 藤田 勝利

多年にわたり若い組織作りを手掛けてまいりました本協会組織も昭和五十五年度から現体制で、この間に役員の一部を刷新して、若年寄的な常任顧問を設置して各所属クラブの長老を活用しながら若い指導者への転換を計り、市教育委員会及び市体協の指導のもとに諸事業の企画・実施を行い、その内容について記念事業と何かイベントを取り入れ楽しめる時代に

一般参加を広く呼びかける方法として体協の組織も今後情報活動の場として発展させて行きたい。

今年も映画会事業も入場者九百余名と盛況のうち無事終了、スキー理論講習会(準備受検組)も多数参加、熱心な勉強会となったろうと思えます。会長以下常任理事が大同一致して執行に当たります。

昭和六十三年度スキー事業計画

- (1) 市民スキー教室(第四十二回)
1月13日(木)～17日(日)4泊5日
蔵王温泉スキー場
- つるやホテル 四万五五百円
定員一〇八名申込十一月月中旬
- 同エキスパートスキースクール
準備受検組 定員四十名
- (2) 市民スキー大会(第四十回)
2月18日(木)～21日(日)3泊4日
会津高原高木スキー場
- 実業団対抗(一般参加)四種目同
フリースキーヤー募集
- (3) 親子スキー教室(第十一回)
3月25日(金)～28日(日)3泊4日
東山スキー場
定員三〇名 申込一月上旬

横浜スキー協会

創立40周年に向けて

横浜スキー協会は、来る六月で創立四十周年を迎える。

協会では、この四十周年に向けての記念事業の一環として、創立四十周年実行委員会を設け、協会の四十年の長い歴史をこの機会にまとめあげ、協会の過去を振り返り、また、今年度実施される各種行事は、創立四十周年記念と銘打って開催される。

創立四十周年記念スキースクール
日程 2月25日(木)～28日(日)
場所 車山高原スキー場
宿舎 ビラ車山
人員 四〇名

第十二回準備員受検コース
日程 2月25日(木)～28日(日)
場所 車山高原スキー場
宿舎 ビラ車山
人員 四〇名

第二十五回市民スキー大会
日程 1月29日(金)～31日(日)
場所 上越国際スキー場
第十一回ポール講習会
日程 3月12日(土)
場所 車山高原スキー場
宿舎 車山高原ホテル

第十四回会長杯スラローム大会
兼第一回横浜市民マスタース
日程 3月13日(日)
場所 車山高原スキー場
宿舎 車山高原ホテル

- (2) 茅ヶ崎市総合体育大会
スキー競技の部
日時 2月4日(木)～2月7日(日)
3泊4日(夜行車泊共)
場所 サナルピナ
青木湖スキー場
- 種目 大回転・回転・クラブ対抗
組別 男子成年・壮年A、B
女子A、B
募集人員 五十五名
申込期日 1月10日まで



この大会は県総合体育大会の市予選会も兼ねており、昨年より電子計時となり、気分だけは一流選手の様だと各選手と、特に実年組(若い代表選手の気分か?)に大変好評である。この競技終了後に協会所属クラブの対抗競技会となり、各クラブ十名エントリーとしたメンバーでデュアル方式、三十三走旗ストレート、ピストル出走で一位三点和し十二回走の合計点で競い合うものでこれも人気の高い行事となっている。

- (3) 市民スキースクール
日時 2月10日(木)～2月13日(日)
3泊4日(夜行車泊共)
場所 バレーブランシェたかやま
募集人員 五十五名
申込期日 1月15日まで
- 今回で第二十九回を迎えるが以前は志賀高原と戸隠との一年交代で開催していましたが、エコーパレースキー場の近くに茅ヶ崎市の出荘が出来てからここ数年このスキー場でしたが今年からはたかやまスキー場に移して班別講習、パッチテスト等が行なわれる。

- (4) 茅ヶ崎スキースクール
日時 3月11日(金)～3月14日(日)
3泊4日(夜行車泊共)
場所 エコーパレースキー場
募集人員 五十五名
申込期日 二月十日まで
- 今年度からの新しい行事として茅ヶ崎山荘泊り前記市民スキースクールの要領で実施する事になっている。
- (5) 春・スキーツアー
日時 4月27日(木)～4月30日(日)
3泊4日(夜行車泊共)
場所 燕温泉・スキー場
募集人員 二十名
申込期日 3月20日まで
- 四月二十九日の夜にホテル主催の飲み・喰べ放題の感謝パーティーだけをターゲットに参加する楽しさ重点のツアーとなっている。
- (6) 月山、鳥海山スキーツアー
日時 5月26日(木)～5月29日(日)
3泊4日(夜行車泊共)
募集人員 二十五名
申込期日 4月20日まで
- この(6)の詳細は先号で紹介済で省略致します。
- 以上協会行事を記しましたが最近になって殊に実年組、家族組等が大変行事に参加される方が多くなってきました。安全を第一とし、何はともあれ楽しく無事に消化していきたいと願っています。

専門委員会

だより

普及

専門委員会制度について書くと依頼を受けました。昨年度まで、規約規定委員長を担当し、当時この制度の規定化を計った担当として快くお引き受けし、低下当時の考え方などを述べてみたい。

この制度は理事職務のレベルアップを計ることが目的で、従来理事が企画から現場の第一線での活躍まで、何でもかんでもやらせていた事から、本来の理事の仕事は何か、と原点に戻って整理をし、空白となる部分を埋める(専門委員) 仕組みを制度化した訳です。

えは重役さんで、理事長は社長である。彼らに一般会員は何を期待するか……それは、長・中期の展望の元に、県連の動向を定め、年度ごとにそれを具体化(企画)していく事である。そして各イベント(行事)の責任者として司どり、会員の満足する執行を推進することにある。しかし、現在は、雑用に追われ、本来なすべき役割が手薄になりがちとなっているのが現実である。

上げる。多くの専門委員の経験を生かし企画に新しい血を入れていくことで、マンネリからも脱皮しようというものです。

従って、専門委員は必ずしも技術的に優れた順に就任していただく訳ではなく、経験の豊かな、企画力から、現場での活動にも応じられる方を広く県下から求めたいものです。

これで理事職の方々の出力が上がり、より県連の発展に繋がります。専門委員の方は、専門委員としての経験の間に、県連の実態を知ってもらい、いづれ執行者として県連に入ってきてもらいやすくなる、いわば理事予備軍ともなるのです。

こうして少しでも県連の出力が増せば……というのがこの制度です。

現在 広報委員会
規約規定委員会
傷害防止対策専門委員会
普及部専門委員会
強化部専門委員会
強化部専門委員会
強化部専門委員会

委員が枝葉をつけ、美しい姿に仕

ポイント計算式について

ポイント委員 相原 和夫

アウトライン
前号でお約束しましたポイント計算について説明します。では、まず計算手順ですが、

- (1) 所要タイム (T)
- (2) タイム評価 (N)
- (3) ポイント (P)
- (4) ベナルティポイント (Pe.P)
- (5) レースポイント (Re.P)
- (6) リストポイント (Ri.P)
- (6) 補足ポイント (C.P)
- (7) 手順要項へ

となり、

ポイント (P) の計算方法
P = (FxTx) / (To - F)
P : レースポイント
F : 60 / (CM - 1)
Tx : その選手のタイム

To : 優勝者のタイム
滑降 CM 1.051
回転 CM 1.080
大回転 CM 1.065
スーパード回転 CM 1.064

なおSAKポイント委員会では、回転は二本合計タイム、大回転は一本目(二本レースの場合) またスーパード回転では、大回転として計算しております。

ベナルティポイント (Pe.P) の計算方法
同じSAK公認大会でも参加選手のレベルに差があった場合、その差は大会のレベル差となりますが、どの大会でも一位を0.00として同じ基準でポイントを与えるとレベルの高い大会に出場している選手も低い大

会に参加している選手も同じようなポイントを持つてしまいます。そこで、このような矛盾をなくすために設けられているのがベナルティポイントです。

このベナルティポイントはそのレースの上位十人中、ベスト五のSAJポイントとその競技でのポイントから計算されます。

(図1参照)

なおSAJポイントを得る選手が五名未満しかない場合、滑降250、回転160、大回転195、スーパード回転200ポイントがノーポイントの上位入賞者に与えられます。

順位	SAJポイント	SAJポイント上位5名(A)	この競技のポイント(B)
1	36.50	36.50	0.00
2	64.60	64.60	18.50
3	56.70	56.70	25.22
4	53.26	53.26	26.55
5	—	—	29.55
6	—	—	44.08
7	85.71	85.71	45.52
8	182.32	—	45.89
9	—	—	46.85
10	—	—	52.13

A = (A1 + A2 + A3 + A4 + A7) × 2
B = (B1 + B2 + B3 + B4 + B7)
Pe. P = (A - B) / 10
これを上式にあてはめると
A = 296.77 × 2

B = 115.79
Pe. P = 47.78
したがって
Pe. P = P + Pe. P となります。

表2

選手	美津濃	カザマ	国体I	国体II	ロンニョール	県権	Y	Ri P
A	198.22	191.40	58.23	47.78	293.32	DF	53.01	0.00
B	225.05	242.57	127.41	147.72	200.14	DF	137.57	84.56
C	186.49	DF	DF	145.79	DS	193.93	166.14	113.13

リストポイント (Ri.P) の計算方法が各大会に出場して得た一年間の成績を評価するものです。

① シーズンを通じて、Re.P 上位二つを合算してその平均値を Y とする。

② Y の最も良い者を X (X = 0.00 (Ri.P) として以下 X から Y を各人から差引いたものが当該年度のリストポイント (Ri.P) となります。

表1-2に一例を示してあるので計算方法を説明すると、

A 選手の場合
Re.P は国体 I・国体 II の 58.23 と 47.78 の上位二つを採用
(58.23 + 47.78) / 2 = 53.01

B 選手の場合
Re.P はやはり国体 I、II の 127.41 と 147.72 を採用
(127.41 + 147.72) / 2 = 137.57

C 選手の場合
Re.P は国体 II と美津濃杯の 145.79 と 186.49 を採用
(145.79 + 186.49) / 2 = 166.14

166.14 (Y) - 53.01 (X) = 113.13 となります。

補足ポイント (C.P) については、一シーズン中に一つしか獲得できなかった場合や当該年度に Re.P

①がない場合は補足ポイントが得られません。

(表3) を参照。

C.P はシングルベナルティとダブルベナルティの適用については、ケガ、病気等の理由で診断書を添えて SA K に提出し認められています。

レースポイント	シングルベナルティ	ダブルベナルティ
0.00 ~ 5.99	3.00	6.00
6.00 ~ 9.99	5.00	10.00
10.00 ~ 15.99	6.00	12.00
16.00 ~ 23.99	7.00	14.00
24.00 ~ 30.99	9.00	18.00
31.00 ~ 37.99	10.00	20.00
38.00 ~ 45.99	12.00	24.00
46.00 ~ 52.99	13.00	26.00
53.00 ~ 59.99	15.00	30.00
60.00	16.00	32.00

以上、みなにも判るよう配慮し列記しました。F.I.S.、SAJ より即 SA K に移行させるには矛盾もありますが、SAK に移行させる各スキー連盟はこの方式をとり入れておりますので御理解をいただきたいと思っております。ポイント所持者のべ九〇〇名強の現在では人力での計算には限界がありますので、県連の O.A 化が早く望まれるところです。

「田高ドル安」で大損！
今年の一月にカナタに行く。ドル百五十円得た気分だったから「ドル安」、ケチって持ち帰ったトラベラーチェックの価値は下がる一方で、替えるに替えられずますます損、なんとかして—— (中野記)

強化

雪無しの道に云え、スキー人口は、年々増加の道にある中で、県連組織も、一般スキーヤーに对照すべき、各部門ごとに、専門委員会の発足により充実して来ています。

後継ながら、傷対委員会の中に、各協会から選出された委員により、傷対専門委員会を設立し、SAJ 傷対委員会に並行した委員会の位置づけをしようと進めております。

近年ケレンテも、高速リフト、ゴンドラと、初心者でも、初日より高度な場所へと進み、思わぬ事故になり、賠償金問題まで及ぶ物が出てきています。

アのみをたよりに運営してきました。しかし、ここに来て部会も予算化され、これらの労に報いられる様になってきましたので、ますます立派な大会運営が出来る事を確信し、努力していきたいと考えております。

又理事候補の勉強の場としても、専門委員会は非常に有効かとも考えられるので、任期も一年とし、再任をさまたげないとして、適した人材をどしどしあてて行く必要

ので、各協会もご協力いただきたいと思えます。

将来的には、専門委員は、自分の協会の行事や傷害防止普及に、積極的に参加し、協会単位で、救急法講習会が持てるようになり、行きたいと思っております。

SAJ 組織も二年前より、教育本部の中に、傷害対策専門部会が設立されており、活発になって来ております。

ケレンテのバトロールのみに任せるだけでなく、一刻でも早く処置出来るよう、自分達の行事には、必ず、救急法取得者が参加される体制にしたいものです。

今シーズンも怪我のない楽しいスキーに致しましょう。

委員代表 佐藤 均

編集後記

このSAKだより、第二十号は、自分にとって一つの思い出になると思っている。まさか毎年年にげなく読んでいたが、広報委員として作成するスタッフの一員として、諸先輩の御指導の下で拘われた事をよろこんでいる。

委員会で夜遅くなり、帰りを待つ満一才になる長女の顔を見たら、つかれもふきとぶ思いだ。(星野記)

いよいよ、今シーズンに入り、オフシーズンが来た。技術者を存分に活躍せんと張り切っておられることでしょうか。

編集委員一同も、一つでも多く皆様方に、良い記事を読んでもらうために、多様な趣向を考えた張つておりますが、原稿の集まりが思うようにはいかず、迷っている次第です。でも全員、ファイアードで発刊に結果されて来たように思われます。皆様方も是非県連に対する、ご要望、ご意見など、各クラブ、協会のニュース等お待ちしております。

「あなたは健康に良いことをしてませんか」という言葉が一時大変流行したことがあるが、シーズン外には遅ればせながら、腰のためになるべく歩くことを主に行っている。(と) といっても駅迄が、近辺のみで少し遠いと自転車となるが……) ただ困る事は、時間が掛かる、能率が悪い、ので現代のスピードに合わない。

時間、能率を無視して、ひたすら歩くことに努めたが少しは強くなったのでは…… (貝野瀧記)

今回、私は二つの原稿を担当したものの締切りに遅れる、はたまた校正段階で委員会に出席しなかつたりで、他の委員の方々に大変迷惑を掛けてしまった。

さて、小田原から何回も県連事務所に足を運んでいるが、おかげで他の協会の人達、県連の役員の方達と接することができた。地方の者にとって、直接の情報は、大いに取極を得ることができたのである。(渡辺記)

今後共県連だより、御協力をお願い致します。(門間記)

